

命を大切に

読谷小学校

六年

新城

あかり

戦争をやったら、どんな気持ちになるのかな。楽しいのかな。幸せなのかな。私はどれもちがうと思う。戦争で大切な人が亡くなったら、「怒りや憎しみ」を生む。戦争の話を聞く私達は、「こわい。絶対にやりたくない」と思う。そんな戦争を、なぜ人はくり返すのだろうか。

私は平和学習で、戦争のおそろしさを、色んな人から学びました。その中で、体験して「こわい」と思ったのは、「アブチラガマ」の中でした。アブチラガマは、全長二百七十メートルの大きなガマで、当時は主に系数住民の避難場所、南風原陸軍病院の分室として使われていたそうです。ガマの中はとてもひんやりとしていて、私ならあんなに寒い所にも一日いるだけでもたいへんなのに、大勢の人が長い間いたというのは、みんなきつかったです。だらうなと思います。

私達はガマの中で、ガンドさんと一緒に黙
とうをしたのですが、その時に、全員の懐中
電灯を消してまっくらだった。私にとって
もこわくて、ずっとな友達の手をにぎっていま
した。まっくらな中でみんな生活していたの
は、とても苦しいし、私と同じで、こわかつ
たと思います。

もう一つ、私が心に残ったのは、ひめゆ
り平和記念資料館です。ひめゆり平和記念資
料館には、当時の学徒達が残した、メッセー

ジや、これから私達が、どう生きれば良い
のか。どんな未来を作れば良いのか、という
大切なことが感じられる場所でした。私はそ
こで、あまり年齢が変わらないひめゆり学徒
の人達や、その先生方が、どんなに苦しかつ
たかが伝わりました。

明るいや、歌が好き、成績優秀だっ
た人、静かで優しかった人、みんな七くなっ
て、みんな悲しんで、どれだけ戦争がおそろ
しいことなのか、未来に受け継ぐ私達が知っ

とかなきや いけないと思いい、一つひとつ、し
かりと資料を見ました。

私は、戦争がなくなるために、どんなこと
が出来るか考えてみました。まずは、友達
や家族を大切にすること。みんながその気持ち
を持って、戦争なんてやる人がいなくなると思
います。そして、一番大切なことは、自分
を大事にする。それだけで人は、相手をき
づけることができなくなると思います。

今、私が幸せに、平和に暮らしていても、
どこかで戦争をしている人がいます。そのせ
いで、罪のない大勢の人が、七くなっています。
す。こんな悲しい世の中を変えたい。こんな
苦しい世の中を変えたい。だから私は、
命を大切に
この言葉を心に刻んで生きていきます。

世界中の人が、平和に暮らせませすように。